

静岡縣に於ける道路愛護運動 (一)

左右田友三郎

一、道路愛護事業の發足

本縣の道路愛護運動は他府縣に比し聊か遅れ馳せの感があるが往時地元住民が其の關係道路の維持保全に寄與したる奉仕の美風は太政官時代の布告を遵奉し、春秋或は益暮等に所謂道普請として部落の年中行事に擧げられ今に慣行され來りたるも、偶々道路に關する法制完備と共に法令上直接道路保全の義務なきを理由として時代の進運と共に道路の利用、亦倍々繁激を加ふるに反し上級官廳管理に屬する國道、府縣道の如きは管理廳の爲す所に放棄するの傾向に變轉し、加之沿道住民は道路を容赦なく占用する弊習あり。斯の風潮愈々増長し昔日の良俗は漸く頽廢し來るを遺憾とし、茲に之れが釐革に輿論を喚起すべく一般縣民に對し交通道の觀念を涵養し、道路に對する關心を深むると共に社會奉仕の精神を作興する見地から端を發し、昭和九年紀元節を卜し道路愛護の標識を掲げ運動を普及するに到れり。之れが本縣に於ける道

路愛護の嚆矢である。

然共單に道路愛護思想普及宣傳のみであつて格別團體組織等具現する機運を醸成する迄には行かなかつたのである。

爾來經費の關係上在再經過し、聊か等閑に附せられたる相の儘に置かれたるも一方縣財政は逐年窮乏を告げ、緊縮豫算の方針により特に土木費の大削減に逢着し、從て道路修繕費の如きは著數節減を見るに至りたる結果近代道路の交通情勢に順應したる維持保全を期する能はざる状態に陥り、延て之れが民力の消長、縣勢進展に影響する所甚大なるを痛感し、茲に勢ひ官民一致總力を擧げ維持保全に邁進し、道路機能を完全に發揮せしむる事を刻下緊切の時務として其の對策上本事業の第一段階に入る策動として、愛護思想の徹底的普及事業團體の設立方懸に躍起し、昭和十一年八月知事の諭告を公布すると共に道路愛護獎勵規程を制定し積極的に運動を開始し、更に國民精神總動員に基き實踐的に強化徹

底を圍り、更に亦與亞教育に鑑み小國民に對し世界的日本人育成の陶冶訓練上學務當局と協力し、時恰も光輝紀元二千六百年を契機に記念事業として管内國民學校長に指令し學徒の團體的參加を奨励したのである。

二、市町村に於ける團體の機構

專業團體の組織に付ては市町村單位とせる團體と學校單位とせる團體とし概ね指示せる準則に依り結成されて居るも、前者は其の町村の實狀に即し任意の機構とせるが、茲に專業主體の組織を擧ぐれば夫々地方的に其の特異性を發揮し、概ね町村住民を打つて一九とした一戸一人制によるもの、更に之等の團體に青年團若は其の他の團體を參加せしめたるもの、或は既設團體たる在郷軍人會、警防團、青年團等渾然一體となつて編成せるもの、又は各種團體中單に一ヶ團體のみを以て單獨結成に依るもの、亦學校關係に於ける團體に在りては少年團、少年報德會、通學部、道路愛護會の名稱の下に結成するもので、初等科第三學年以上のものを以て組織してゐる。

而して事業の性質上豫め道路愛護會の準則を示し、市町村單位とせる團體に至りては市町村長を中心とし、總て連絡統制を圖る方針を以て其の市町村に於ける公職員を役員に充て任期は其の職の任期限とし、會長、副會長、部長、班長、評議員、幹事、顧問等の制度とせり。

然共團體機構の種類により其の趣を異にするも、町村住民一人制を以て結成したる團體に在りては、會長に市町村長を推薦し、副會長に助役、部長に各町内會長、部落會長、班長に隣保班長、隣組長、評議員に町村會議員、又は土木委員、翼賛壯年團幹部、幹事に町村土木主任を充て、顧問に其の町村内に於ける識者を推戴するものにして、尙之等の團體に各種の團體を參加したる編成に在りては前記役員中副會長に其の參加團體長を推し、部長に其の參加團體の幹部を充て、單に既設各種團體の混成組織の場合に町村長を會長に推し副會長に助役又は各種團體長、部班長、評議員には其の團體の幹部を夫々充つる等總て事業は其の市町村を主體として連絡統制を圖つてゐる學校關係團體に在りては、學校長を會長に職員學徒一體となり構成せるものである。

次に作業實踐方法は其の市町村の實狀に適應せしめ、作業實施は概ね年二回の定期的一齊作業を設定する外、當設的には其の團體に於ける各部班の分擔作業區域の交通情勢に應じ隨時保全に當ることになつてゐる。

學校關係方面に在りては毎週一回乃至毎月二回常例的に實施され、或は其の町村の一齊作業日等には隨時呼應して協力する事になつてゐる。其他非常災害時及特種の場合は會員總動員の下に參加出勤する等確固たる基礎と細胞とを以て實施されつゝあるのである。縣は斯したる團體の作業日は豫め土木出張所員並に道路工夫

を派遣して作業指導の任に當らしめてゐる。

三、愛護思想の普及宣傳

道路愛護事業に關する諭告公布と共に本事業の總旨徹底を計るべく市町村長會に於て指示する外、各土木出張所管内に於ける市町村土木主任會を開催具體的事項に付協議を行ひ、更に出張所管内各工營所管下の町村長、土木主任會等を隨時開催事業團體の結成方を懲勵し或は所員を動員し、市町村に於ける各種團體の諸會合等を利用し事毎に道路愛護思想の普及鼓吹に當らしめ、尙一般民衆に對する普及として道路愛護映畫會を隨所に催し宣傳を行つたのである。

然共經費の關係上積極的に計畫せる普及方法の萬全を期すること能はず、全く徒手空擧的文書戰に依り輿論の喚起に努むるの外なきを以て地方の新聞、諸團體の機關誌を利用し各地に於ける道路愛護會の團體の結成の情報、作業實施の狀況、其他事業の現況等刻々に報導し其の宣傳投稿數帖に半歳の間の數百編に及べり。斯くして漸次全縣的に其の機運を醸成し續々團體結成を生み將に高潮の域に達せし所、偶々日支事變に遭遇し市町村に於ける時局事務遽に繁激を加へ結成準備の最中に於て一時留保の形と成り。茲に一頓挫を來すに到つたのである。然共初期の目的貫徹を信條とし機に臨み折に觸れ緩急據に乘じ著々市町村當局を鞭撻し管内土木出張所長を激勵し、運動方法、工作手段を指摘し極力事業の

進展を圖りたる結果、發足以來二ヶ年を通じ相當なる實績を示すに至り、且つ國民學校方面に於ける本事業に齎らす効果は實に偉大なるものあり、當時全縣的に提唱せられたる集團的勤勞運動は青少年學徒に尤も相應せるものとして忽ち擡頭し縣下四百九十餘校が續々參加するに至り、更に時局下に於ける國民精神總動員實施に依る公物愛護、勤勞精神作興等の實踐に則り相俟つて本事業の最も恰好適切なることを強調時運の動向に策動し強化徹底を圖りたるに、之れに呼應し強調週間實施毎に臨時的作業を實施する向續出するに至れり。

而して之等作業は他府縣の例による共進會等の形容に依らず其の市町村の實狀に即したる作業期を以て隨時執行せしむるにありて之れが指導獎勵に付ては主として、土木出張所長を充て時に臨み本廳員を派遣せしむる程度にあり、今茲に團體の活動狀況を擧ぐれば一戸一人制による團體に在りては町村長を陣頭に極めて眞摯なる態度を以て勤勞報國の精神を發揮し、階級的感情に囚はれず和衷共同團結せる一齊的作業に終始する所謂舉村一致の美風は恰も社會人に課せられたる絶對的義務たる情緒を窺ふものあり、尙青年團、警防團等の活動に在りては團體の旗標たる實質剛健の氣風を其の儘一絲亂れざる統制下に意氣潑刺たる活動振りを展開し維持保全に全幅を傾注するあり、更に少年團に在りては青少年學徒に賜りたる優渥なる勅語を體し心身の鍛鍊と雄渾なる氣魄と

強健なる體軀を鍊成する本義に則り、熱汗報國の一樣相として精進し教職員指導統率の下に純眞なる童心の動行は、一般社會に無言の教化を與ふる等眞に敬虔の念油然而たるものあり、之等は何れも其の團體に於ける一般的概況によるものも或一郡下の團體に在りては作業の實績に鑑み、從來の定期的作業計畫にして年三回以上に互る設定に在りては之れを二回に減縮し其の一回の一齊作業の出勤人員を常設的作業に割當各月に之を實施し、道路工夫と提携し不斷の努力を以て實質本位に活動する向ある等一段と熾烈を加へ遽年業績を向上しつゝあり、本事業發足以來一般縣民の道路に對する關心を深むると共に社會奉仕、勤勞精神を作興し偉大な實績を收めるに在り、而して年次繰返さる水害及時の事例なるも傷病兵御尉間の爲宮殿下御差遣の際、嘗ては昨秋行はれたる縣下岳麓に於ける天覽演習の際等地元道路愛護團體の活動は勿論、一般住民の沿道の修理清掃に自發的に出勤せられたる事例あり、之れに徴するも本運動の齎らすものと思惟するものにして道路愛護運動の一般社會に反映したる事例尠なからざるものあり。

縣は本運動の強化思想普及方法として現行道路愛護獎勵規程により作業實施團體の實績を審査し、業績顯著なる團體に對し表彰狀、感謝狀並獎勵金を授與し尙道路改良會の表彰を受けることを唯一の獎勵方法としたのである。之等の頌表は地方團體に對し奮起を促し其の反響頗る大なるものを以て現勢に鑑み、普遍的

に表彰手段を以て活動する事となつたのである。

尙縣は茲に時局に際り現下の情勢は國力の充實を計るに在り、就中物資の動員は高度の生産力擴充を要求しつゝあり、之れが資材の流動圓滑は一つに交通機關の整備にあり、然共此の重責の使命を課せられたる本縣の道路交通に在りては著敷懸念ありて時運に即應し得る能はざる實狀に鑑み、道路の施設改善愛護思想の普及を圖り綜合的研究に依り道路事業の促進と交通運輸事業の進展に寄與し、新東亜建設の使命に副はんと欲し道路及道路交通に係ある公共團體及交通運輸團體等と糺合し、茲に道路愛護團體を打つて一丸とし聯合協會を設立し、眞に革新的道路に關する施設の改善を圖らんとする運動を畫策中に在るのである。

四、最近に於ける事業實績

最近事實上道路愛護運動の手を緩るめ團體の自發的行動に委せた關係も若干あつたが、茲に昭和十六年度の事業實績に就て舉げれば概ね左の通りである。

イ、市町村單位團體

作業實施團體は百四十ヶ團體で作業に参加した十六萬九千八百二十人、之れを一日八時間労働に換算すると六萬九千九百七十人に達するのである。尙之れを賃金統制令に依る普通人夫賃を標準として最高二圓四十錢、最低一圓九十錢、其の平均額二圓十五錢にするときは勞力費として十五萬四百三十六圓となるのである。

ロ、學校單位團體

作業實施團體百二十八校に及んで參加した人員は七十三萬七千三百二十二人、之れを八時間労働作業に換算して見ると、十三萬六千十八人で、尙之を前記同様賃金統制令に依る二十歳未満の男子五十錢、女子四十錢の標準額の平均四十五錢とすれば勞力資金六萬一千二百八圓となるのである。

以上を綜合すれば作業實施團體二百六十八、參加人員二十萬五千九百八十八人、勞力費二十一萬一千六百四十四圓に達し、之れを本縣に於ける當初の年度毎に其の實績を繰つて見ると

昭和十一年度（自八月一—至翌年三月）

作業實施團體 八〇

作業參加人員 四五、五二一

昭和十二年度

作業實施團體 一〇五

作業參加人員 一五九、八二五

昭和十三年度

作業實施團體 一三七

作業參加人員 一八二、〇六二

昭和十四年度

作業實施團體 二九九

作業參加人員 一、五四四、七二八

昭和十五年度

作業實施團體 三三二

作業參加人員 一、七二五、九一三

昭和十六年度

作業實施團體 二六八

作業參加人員 一、八二八、〇〇一

以上の通で、前年度にありては作業實施團體に於て若干減つてゐるが、實際作業に參加人員數に徴すれば將に十萬人以上を増し、實質の上からも立派な効果を現してゐるのであります。

而して之等團體の前年度の實績に對し獎勵として交付した金額は其の豫算額一千七百圓の内、事務的需用費を控除して年々約一千四、五百圓程度で、先づ其の標準は最高二十圓、最低三圓と言ふ極めて少額に過ぎないのである。

今茲に奉仕作業に依る換算勞力費と縣の道路修繕費等の豫算と比較して研究すると

奉仕勞力費二十一萬一千六百四十四圓に對し

獎勵 金 一千七百圓との比 百二十四倍

道路修繕費 二十四萬四千圓との比 〇・八倍（八七・五％）

道路工夫給料 十九萬二千七百二十圓との比 一・二倍（二〇％）

右の如き比率となつて結局、道路修繕費と道路工夫給料費を通した四十三萬六千七百二十圓と比較すれば四八％になるので、團體

の奉仕を勞力費に換算した額と縣の豫算額との比は約五割に相當して居ることになるのであります、茲に偉大なるものあることを感ずるのであります。

尙參考の爲昭和十六年度關係表彰に就ては別項の通りで、表彰式に於ける專業並審査報告は概ね前述の要領とし、更に告辭に就ては現下の道路行政に鑑み道路愛護に重點を置くことを勸告した譯である。

道路愛護表彰式日程表

土木出張所名	日	時	式場
下田	九月二十五日	午前時五分	賀茂地方事務所會議室
三島	九月二十六日	午後時	田方地方事務所會議室
沼津	九月二十七日	午前九時	沼津市公會堂
靜岡	九月二十三日	午後時	縣廳舊縣會議事堂
島田	九月二十八日	午前四時	島田町第三國民學校講堂
袋井	九月二十九日	午前時五分	袋井町產業組合會議室
濱松	九月三十日	午後時	西遠地方事務所會議室

一、市町村關係道路愛護團體結成狀況(昭和十七年三月現在)

土木出張所名	國民學校數	團體參加數	團體人員		作業區域		摘要
			延長	市町村道長	延長	市町村道長	
土肥(臨時)	三	〇	三	〇	〇	〇	〇
三島	三三	三三	一〇	八、八五	三三〇、四八〇	八六〇、八五〇	
沼津	四	三	二六	三〇、九七	一六、七三	一、五九、三四二	
靜岡	三三	一八	四	三三、六三	一六、五〇九	七、五九、七六五	
島田	四	四	二	三、三〇	四、七五五	一、五四、九八一	
袋井	七	七	〇	四〇、〇二	四〇〇、五四	三、八三〇、八〇〇	
濱松	六	六	一	三、八三〇	五、三〇五	三、六七、八二	
計	三〇二	二五三	五〇	一、六、八〇二	一、〇、六、六九	一、三、〇〇、四四	

二、學校關係道路愛護團體結成狀況(昭和十七年三月現在)

本表中左書は町村團體中に參加するものを示す

土木出張所名	國民學校數	團體參加數	團體人員		作業區域		摘要
			延長	市町村道長	延長	市町村道長	
下田	三	九	三、五三	二六、七五〇	三、〇〇		
土肥(臨時)	五	一	一、六三	三、〇〇〇	四、〇〇〇		
三島	四	六	二、三、七三	八、六九〇	一、六、六六		
沼津	三	五	一、六、八一	二、五、四八	一、六、七一		
靜岡	四	四	二、〇、四〇	三、六、七二	三、〇、五九		
島田	五	七	九、〇、九	二〇、一、五七	二、六、六九		
袋井	六	三	八、六、六	七、七、六三	四、四、〇八	中等校一	

濱松 二二 七九 二七〇、四六 三六九、六三八 一、七九、九六一 中等校 二 學校關係 三九 七三〇、三三三 一、六〇、〇一八 六、〇〇八

計 四九四 三七七 九七、七四三 九四九、四四七 三、〇四六、八六四 其他團體 九 一、九五六 二、〇〇六 二、一五 四、三三六 六、六三八

三、道路愛護事業實踐總括表

右一國、府縣道
左一市町村道

團體別 作業實施 作業參加 人員 勞力費換算額
勞力費換算額 勞力費
市町村關係 一三三 一六七、九二四 八八、七九六 八〇、四八三 二、一五 一四六、三三三 一七三、〇〇六

勞力費換算に付ては賃金統制令に依る普通入夫賃を標準とし、市町村關係團體に在りては最高二圓四十錢、最低一圓九十錢の標準とし、平均額二圓十五錢、學校關係團體に付ては二十歳未満男子五十錢、女子四十錢、標準額平均四十五錢を以て換算單價とせるものなり。

四、市町村關係道路愛護團體事業實踐 (國、府縣道關係)

所 土木出張名	團體結成 市町村數	年度内作業實施團體數	結成團體作業區域總延長	作業實施團體屆出延長	同上實施延長	結成團體總人員	作業參加人員	同上八時間換算人員
下田	一九	六	一八三、九二六	七六、〇〇三	八四、六九四	一〇、三三三	四、四三二	三、一八八
三島	三三	三	一三〇、四八〇	三六、四八〇	三八、三八〇	八、八〇五	一、二六二	八九五
沼津	三三	三三	一六七、七三三	五五、五三六	八二、一七五	二〇、九九七	一五、八〇四	一七、五九九
靜岡	一八	一〇	二六九、五〇二	三三、〇七四	一五九、〇七四	一三、六三三	四、五六八	五、六六四
島田	四	二四	四一六、三七四	二二〇、四〇四	三〇〇、七八四	三六、一〇一	一五、五五五	一三、六八八
袋井	七	三〇	四〇〇、五三三	一八九、〇三三	四六、七〇七	四〇、〇三二	一八、五五五	一〇、七四二
濱松	七	二七	五三三、〇九二	二八五、六〇六	五八、六四四	三七、八五〇	一七、七〇〇	一六、二二四
計	一三一	一三三	二、〇〇〇、六一六	九三三、七三三	二、三三九、九八八	一六六、二二〇	一六七、九二四	一六、六四四

五、市町村關係道路愛護事業實績 (市町道關係)

所名	團體結成 市町村數	年度內作 業實施團 體數	結成團體作業 區域總延長 米	作業實施團 體屆出延長 米	同上實施 延長 米	作業參加 人員	同上八時間 換算延人員
下田	九	一〇	七五〇,四八	一七〇,九六六	二五五,九五四	九,三三〇	六,三三三
三島	三	三	八〇〇,七〇七	八〇,三六六	九七,三六六	一,八一〇	一,三三六
沼津	三	二	一,一五五,三三四	三三九,一〇九	一,四四一,〇六五	一八,〇六六	三,三〇六
靜岡	八	八	七五七,七六五	一〇一,三〇〇	一〇一,四二五	三,三三四	六,二九八
島田	四	三	一,五五六,九八一	七三,三三四	九三三,五七〇	一八,五七七	一九,八八八
袋井	七	二	三,八〇〇,九二〇	七三,三〇〇	九四五,五九三	一九,四七五	一五,三九七
濱松	六	三	三,六三二,八一	四一五,七六九	九三二,〇六一	一八,三三三	一九,〇三〇
計	三三	二九	三,〇〇一,四五四	二,六三〇,八六六	四,四七七,七〇〇	八八,七九八	八〇,四八三

六、學校關係道路愛護事業實績 (右國、府縣道 左市、町村道)

所名	團體結成 參加校數	作業實 施校數	作業實施團體 區域總延長 米	結成團體作業 區域總延長 米	作業實施團體 延長 米	作業參加 人員	同上八時間 換算延人員
下田	九	六	八,一〇八	二六,七五〇	四八,五〇〇	三,九一九	一,九〇五
三島	三	二	五,六〇〇	三九,一〇〇	一四,五〇〇	一,九〇八	一,四九八
沼津	三	二	一,一〇〇,〇〇〇	八六,六六〇	四四〇,四七七	四四,〇四七	九,五九五
靜岡	四	三	一,九六,〇〇〇	一七二,五五五	一,一七,五九九	一〇,〇〇〇	九,六六九
計	三三	二二	一,二五二,〇〇〇	一,一〇二,四七二	一,一六六,九六六	一〇四,〇九三	五〇,八三三

團體別	順位	團體數	獎勵金單價	獎勵金額
鳥田	第一位	一	一〇	一〇
袋井	第一位	一	五	五
濱松	第一位	一	一〇	一〇
計		三		二五

七、道路愛護團體選奨一覽表

市町村關係	學校關係			其他團體	功勞者	合計
	第一位	第二位	第三位			
鳥田	一	一	一	一	一	五
袋井	一	一	一	一	一	五
濱松	一	一	一	一	一	五
計	三	三	三	三	三	一五

八、道路愛護團體選奨出張所別表

右市町村關係
左學校關係

土木出張所名	團體數	實施第一	實施第二	實施第三	其他團體	功勞者
鳥田	一〇	二	四	四	一	一
三島	六	一	二	三	一	一
沼津	六	一	二	三	一	一
靜岡	三	一	一	一	一	一
島田	三	一	一	一	一	一
袋井	三	一	一	一	一	一
濱松	三	一	一	一	一	一
計	三三	九	一五	一五	五	五

市町村關係被表彰團體 (數字は其年度の知事表彰を示す)

- 第一位 15 賀茂郡三坂村道路愛護會
- 第二位 15 賀茂郡三濱村道路愛護會、賀茂郡南上村道路愛護會

下田土木出張所 (一〇)

第三位 14

賀茂郡松崎町道路愛護會、賀茂郡安良里村道路愛護會、賀茂郡岩科村道路愛護會、賀茂郡白濱村道路愛護會、賀茂郡仁科村道路愛護會、11 12 13 14 賀茂郡城東村道路愛護會、賀茂郡上河村道路愛護會

三島土木出張所 (八)

第一位

田方郡上狩野村道路愛護會

第二位 15

田方郡宇佐美村道路愛護會、田方郡中狩野村道路愛護會、◎其他團體田方郡伊豆長岡町吉奈區、田方郡伊豆長岡町長岡區、田方郡江間村青年團、田方郡函南村畑毛溫泉組合、田方郡小室村株式會社川奈ホテル

沼津土木出張所 (一六)

第一位 13 14 15

駿東郡靜浦村道路愛護會

11 12 13 14 15 富士郡元吉原村道路愛護會

14 15 駿東郡金岡村道路愛護會

第二位

富士宮市大宮町道路愛護會、庵原郡内房村道路愛護會、庵原郡浦原町道路愛護會、富士郡田子浦村道路愛護會

第三位

駿東郡清水村道路愛護會、駿東郡須山村道路愛護會、駿東郡印野村道路愛護會、駿東郡片濱村道路愛護會、富士郡富士根村道路愛護會、駿東郡富士岡村道路愛護會、富士郡北山村道路愛護會、富士郡之富村道路愛護會、駿東郡小山町道路愛護會、◎個人功勞者沼津市川

廓町九七三 山村銀藏

靜岡土木出張所 (一一)

第一位

安倍郡大川村道路愛護會、

13 15 庵原郡兩河内村道路愛護會

第二位

安倍郡美和村道路愛護會、安倍郡大河内村道路愛護會、13 15 庵原郡小島村道路愛護會、11 15 安倍郡玉川村道路愛護會、12 14 15 庵原郡由比町道路愛護會

第三位

庵原郡庵原村道路愛護會、安倍郡南農科村道路愛護會、安倍郡梅ヶ島村道路愛護會、安倍郡中農科村道路愛護會、其他團體庵原郡由比町警防團

島田土木出張所 (二七)

第一位 11

榛原郡五和村道路愛護會

15 志太郡藤枝町道路愛護會

13 14 15 榛原郡下川根村道路愛護會

第二位 12 13 15

志太郡岡部町道路愛護會、榛原郡中川根村道路愛護會、志太郡伊久身村道路愛護會、15 志太郡葉梨村道路愛護會、志太郡青島町道路愛護會、志太郡徳山村道路愛護會、志太郡六合村道路愛護會、志太郡廣幡村道路愛護會、15 志太郡朝比奈村道路愛護會

第三位

榛原郡吉田村道路愛護會、志太郡大津村道路愛護會、榛原郡勝間田村道路愛護會、志太郡高洲村道路愛護會

志太郡大洲村道路愛護會、榛原郡坂部村道路愛護會、
志太郡大富村道路愛護會、志太郡東益津村道路愛護會
志太郡和田村道路愛護會、榛原郡地頭方村道路愛護會
榛原郡御前崎村道路愛護會、榛原郡萩間村道路愛護會
榛原郡白羽村道路愛護會、榛原郡昔山村道路愛護會、
榛原郡相良町道路愛護會

袋井土木出張所 (三二)

第一位

磐田郡久努村道路愛護會
13 14 15 磐田郡袋井町道路愛護會
磐田郡三川村道路愛護會

第二位

周智郡熊切村道路愛護會、小笠郡佐束村道路愛護會、
周智郡一宮村道路愛護會、15 小笠郡大郷村道路愛護會
小笠郡加茂村道路愛護會、11 小笠郡土方村道路愛護會
小笠郡中村道路愛護會、小笠郡上内田村道路愛護會、
周智郡園田村道路愛護會、磐田郡於保村道路愛護會、
小笠郡佐倉村道路愛護會、周智郡大居町道路愛護會、
磐田郡向笠村道路愛護會

第三位

小笠郡大坂村道路愛護會、磐田郡西淺羽村道路愛護會
15 小笠郡南山村道路愛護會、小笠郡原泉村道路愛護會
小笠郡曾我村道路愛護會、小笠郡比木村道路愛護會、
小笠郡朝比奈村道路愛護會、小笠郡千濱村道路愛護會

說苑

周智郡三倉村道路愛護會、小笠郡栗本村道路愛護會、
小笠郡谷村道路愛護會、小笠郡西山口村道路愛護會、
磐田郡御厨村道路愛護會、周智郡天方村道路愛護會、
小笠郡横地村道路愛護會婦人部、磐田郡南御厨村青年
團

濱松土木出張所 (三三)

第一位

磐田郡下阿多古村道路愛護會
12 13 14 15 引佐郡三ヶ日町道路愛護會
14 15 磐田郡浦川町警防團道路愛護會
15 磐田郡二俣町道路愛護會

第二位

引佐郡中川村道路愛護會、15 濱名郡新所村道路愛護會
15 濱名郡新居町道路愛護會、濱名郡芳川村道路愛護會
15 濱名郡伊佐見村道路愛護會、引佐郡伊平村道路愛護
會、引佐郡井伊谷村道路愛護會、15 磐田郡佐久間村道
路愛護會、濱名郡積志村道路愛護會、磐田郡熊村道路
愛護會、磐田郡野部村道路愛護會、濱名郡南庄内村道
路愛護會、引佐郡氣賀町道路愛護會

第三位

磐田郡龍山村道路愛護會、13 14 濱名郡笠井町道路愛護
會、引佐郡都田村道路愛護會、濱名郡雄踏町道路愛護
會、濱名郡鹽西村道路愛護會、濱名郡舞阪町道路愛護
會、濱名郡入出村道路愛護會、引佐郡金指町道路愛護

五九

會、周智郡水窪町道路愛護會、濱名郡和田村道路愛護會、濱名郡篠原村道路愛護會、濱名郡河輪村道路愛護會、濱名郡五島村道路愛護會、濱名郡吉野村道路愛護會、濱名郡入野村道路愛護會、其他團體周智郡水窪町西浦區馬力運送組合、周智郡水窪町警防團第一分團、周智郡水窪町集合貨物自動車組合

學校關係表彰團體 (數字は其年度の知事表彰を示す)

下田土木出張所 (六)

第一位 賀茂郡三濱村妻良國民學校

15 賀茂郡濱崎村須崎國民學校

第二位 賀茂郡上河津村國民學校少年團、賀茂郡朝日村登目少年團、賀茂郡朝日村吉佐美少年團、賀茂郡朝日村大賀茂國民學校

三島土木出張所 (一六)

第一位 田方郡伊東町伊東西國民學校少年團

15 田方郡宇佐美村國民學校

15 田方郡上狩野村月ヶ瀬國民學校道路愛護會

第二位 田方郡上狩野村湯ヶ島國民學校、15 三島市坂國民學校道路愛護會、田方郡綱代町國民學校海洋少年團、田方郡中狩野村國民學校、15 田方郡小室村川奈國民學校青少年團、田方郡小室村大池國民學校少年團

第三位 田方郡下大見村國民學校道路愛護會、15 田方郡伊豆長岡町國民學校、田方郡上狩野村持越國民學校道路愛護會、田方郡對島村八幡野國民學校、田方郡對島村富戶國民學校、田方郡對島村池國民學校、田方郡中狩野村船原國民學校

沼津土木出張所 (二三)

第一位 靜岡縣立富士商業學校

富士郡吉永村第一國民學校

富士郡須津村國民學校

富士郡上野村國民學校少年團

第二位 靜岡縣立沼津商業學校、15 富士郡吉原町傳法國民學校少年團、沼津市立第四國民學校、富士郡吉永村第二國民學校、15 富士郡吉原町吉原國民學校仰成少年團

駿東郡原町國民學校、靜岡縣立大宮高等女學校、富士郡田子浦村國民學校、沼津市第二國民學校少年團、沼津市第三國民學校、沼津市第五國民學校、沼津市第一國民學校、富士宮市大宮東國民學校、富士宮市貴船國民學校、富士郡芝富村國民學校少年團、富士宮市黒田國民學校、駿東郡須山村國民學校、駿東郡大岡村國民學校、駿東郡小山町明倫國民學校

靜岡土木出張所 (一八)

第一位

庵原郡兩河內村中河內國民學校
安倍郡大川村檜尾國民學校少年團
靜岡市大谷國民學校道路愛護會

第二位

安倍郡中蘆科村中蘆科國民學校、靜岡市賤機中國國民學校道路愛護會、15 庵原郡小島村小島國民學校、靜岡市賤機南國民學校、清水市不二見國民學校不二見少年團、庵原郡兩河內村和田島國民學校、靜岡市西豐田國民學校道路愛護會

第三位

靜岡市中島國民學校道路愛護會、靜岡市東豐田國民學校道路愛護會、庵原郡兩河內村西河內國民學校道路愛護會、庵原郡庵原村庵原國民學校、靜岡市大里東國民學校、靜岡市三番町國民學校、靜岡市麻機國民學校
島田土木出張所 (一九)

第一位

志太郡葉梨村葉梨國民學校、
志太郡和田村國民學校少年團

第二位

榛原郡菅山村國民學校道路愛護會
榛原郡吉田村住吉國民學校、志太郡德山村下泉國民學校少年團、志太郡葉梨村葉梨西北國民學校、15 榛原郡下川根村家山國民學校少年團、15 志太郡大洲村國民學校道路愛護會、榛原郡川崎町細江國民學校少年團道路

第三位

愛護會

榛原郡川崎町川崎國民學校少年團道路愛護會、志太郡伊久身村身成國民學校身成少年團、榛原郡下川根村葛籠國民學校通學團、榛原郡吉田村川尻國民學校、榛原郡萩間村萩間國民學校、15 志太郡大富村國民學校、榛原郡地頭方村國民學校、榛原郡下川根村鹽本國民學校、志太郡伊久身村伊久美國民學校少年團、榛原郡相良町國民學校

袋井土木出張所 (一七)

第一位

12 13 14 15 磐田郡豐濱村國民學校道路愛護會
磐田郡福田町國民學校少年團

第二位

小笠郡柳川町第二國民學校道路愛護會
磐田郡三川村國民學校少年團、15 磐田郡幸浦村國民學校幸浦少年團、磐田郡袋井町道路愛護會東國民學校班、磐田郡袋井町道路愛護會西國民學校班、磐田郡南御厨村國民學校南御厨村少年團、靜岡縣立袋井商業學校、靜岡縣立掛川中學校

第三位

15 小笠郡六鄉村國民學校道路愛護會、磐田郡磐田町西貝國民學校道路愛護會、磐田郡磐田町中泉西國民學校少年團、磐田郡愛護會、磐田郡磐田町中泉西國民學校少年團、磐田郡磐田町見付國民學校少年團道路愛護會、磐田郡向笠

村國民學校道路愛護會、磐田郡磐田町天龍國民學校

濱松土木出張所 (三〇)

第一位

市白脇國民學校、濱名郡篠原村國民學校通學部、濱名郡吉野村國民學校少年道路愛護會、15 濱名郡入野村少年赤十字團

年赤十字團

靜岡縣二俣實業學校奉國體

優良表路工夫表彰 (知事)

磐田郡二俣町二俣國民學校道路愛護會

獎勵金 勤績年數 所屬出張所名 氏名

14 15 磐田郡浦川町浦川國民學校少年團

一〇^國 二二^年 下田 板垣專吉

15 磐田郡池田村國民學校少年團

一〇 二二 三島 土屋孝一

第二位

靜岡縣立二俣高等女學校、磐田郡下阿多古村石神國民學校道路愛護會、濱名郡豐田村國民學校報德少年團、

一〇 二二 沼津 勝亦美之作

14 15 濱名郡新居町國民學校少年報德會、磐田郡井通村國民學校少年團、磐田郡光明村光南國民學校道路愛護會、15 濱名郡知波田村少年赤十字團道路愛護會、濱名

一〇 二二 靜岡 深澤藤太郎

郡新所村少年赤十字團、引佐郡伊平村國民學校、磐田郡掛塚町國民學校道路愛護會

一〇 二五 島田 梅澤善次郎

濱名郡駕津町國民學校報德道路愛護會、15 濱名郡稚踏町國民學校少年團、濱名郡舞阪町國民學校少年團、濱名郡河輪村國民學校少年團、濱名郡和田村國民學校少年警防團、濱名郡伊佐見村國民學校、濱松市南國民學校、濱名郡神久呂村神ヶ谷國民學校、濱名郡神久呂村大久保國民學校道路愛護會、引佐郡伊平村國民學校道路愛護會、15 濱名郡神久呂村志都呂國民學校、濱松

一〇 二四 袋井 成川三代藏

表 彰 狀

一〇 一九 下島長七

表 彰 狀

一〇 二三 濱松 松本五郎作

表 彰 狀

一〇 二三 宮本由太郎

第三位 14 15

濱名郡駕津町國民學校報德道路愛護會、15 濱名郡稚踏町國民學校少年團、濱名郡舞阪町國民學校少年團、濱名郡河輪村國民學校少年團、濱名郡和田村國民學校少年警防團、濱名郡伊佐見村國民學校、濱松市南國民學校、濱名郡神久呂村神ヶ谷國民學校、濱名郡神久呂村大久保國民學校道路愛護會、引佐郡伊平村國民學校道路愛護會、15 濱名郡神久呂村志都呂國民學校、濱松

多年精勵恪勤道路ノ維持保全ニ努メ其ノ成績顯著ニシテ他ノ範トスルニ足ル仍テ茲ニ道路工夫選奨規程ニ依リ木杯壹個ヲ授與シテ之ヲ表彰ス

道路工夫 何 某

道路工夫 何 某

昭和十七年九月(二十五、三十)日

静岡縣知事 從四位勳三等 藤岡長敏

優良道路工夫推賞 (土木部長)

獎勵金五圓

下田	高橋元吉	濱松	鈴木長平	名倉彌一
"	鈴木庄吉	"	三石恒保	水野桂太郎
"	藤井政雄	"	大城隆吉	服部竹一
"	鈴木角藏	"	皆川守二	鈴木長平
三島	土屋長平	"	石田勇次郎	鈴木長平
沼津	川村留藏	賞狀	道路工夫	何某
"	加藤收平			
"	須田金次郎			
"	野中波之助			
"	佐野寅吉			
"	望月茂男			
静岡	望月佐右衛門			
"	池ヶ谷庄吉			
"	勝山銀藏			
"	杉山嘉一			
島田	大石嘉市			
"	清水嘉四郎			
"	落合次郎平			
袋井				

平素克ク業務ニ精勵シ其ノ成績優良ニシテ推獎スルニ足ル仍テ茲ニ金壹封ヲ授與シ之ヲ賞ス

昭和十七年九月 日

静岡縣土木部長地方技師 正五位勳四等 大石 巖

道路改良會表彰

本年度道路愛護作業實施團體並縣道路工夫にして其の業績顯著なる者に付同會宛表彰方推薦の處特に他の範とする者として左記の通旌彰せられたり

道路愛護團體

榛原郡五和村道路愛護會

庵原郡兩河村道路愛護會

志太郡藤枝町道路愛護會

磐田郡二俣町道路愛護會

田方郡伊東町伊東西國民學校少年團

磐田郡池田村國民學校少年團

表彰狀

何々

道路ノ維持修繕ニ盡瘁シ功績洵ニ顯著ナルモノアリ仍テ之ヲ表

彰ス

昭和十七年九月二十日

道路改良會長 正三位勳一等法學博士 水野練太郎

道路工夫

一等功績章及三つ組木杯

同	下田	板垣專吉
同	三島	土屋孝一
同	沼津	勝亦美之作
同	静岡	深津藤太郎
同	島田	梅澤善次郎
同	袋井	下島長七
同	濱松	松本五郎作
同	同	宮本由太郎

表彰狀

静岡縣道路工夫

何

多年道路ノ維持修繕ニ精勵シ功績洵ニ顯著ナルモノアリ仍テ之ヲ表彰ス
昭和十七年九月二十日

道路改良會長 正三位勳一等法學博士 水野練太郎

○ 若葉吟社詠草

夕映ゆる敗荷の池を巡り來て	淺茅
長き夜の火鉢戀しや雨の月	靜風
湯の町の灯に暮れて雨の月	同
利根白く汽笛響けり雨の月	同
大利根の鶯音寂かに雨の月	同
朝晴の落葉を揺りて放屁虫	同
熟れ柿の漏れ日を踏めば放屁虫	同
敗荷の池を圍みて釣の子等	同
破れ蓮の揺るゝ大池日の落つる	同
歸農して鎌とる兵の遅しく	同
仲秋の月に嘯く詩吟かな	同
仲秋の峯々しるく連りて	同
橋落ちし郷里を見舞へば母の聲	同
○ 藪寺に立退ける友よ水見舞	野狐禪
放屁虫音も煙りも盡きてけり	同